

Nihon Univ. Equestrian

Vol.6 2008. Winter

Team



自分を変える身近な方法

諸岡 慶

自分がうまくいっていないとき、その流れを変えようと色々なことを考え試す学生も多いはずだ。上手く乗れない、強くなれない、俺にはチャンスすらまわってこない、誰も心が抱える悩みであろう。その悩みや考えの一つ一つは自分が成長をするための原動力である。劇的に一瞬で変わるものなんていうのはそうそうない。真価を示すその日まで、日常の様々な動

作、習慣、食事、人との会話、必要なことを試行錯誤しながら日常の中に組み込み継続することだ。当たり前のことを続けることが一番難しいこと、今の学生に足りない何かは私には見えてきている。努力を継続できることも一つの才能、学生生活での4年間は失敗の許されるもの、失敗をして人間は強くなり大きくなる、そのために挑戦しなければならない。挑戦する学生を支えるのは私の役目、そのために全力で学生と向きあって指導をしていきたい。自分の流れを変える方法は、案外身近なところに落ちているものだ。



全日本学生レポート

全日本学生馬術三大大会

(平成19年10月30～11月4日)



主将挨拶

今年度、主将を務めさせていただきます渡邊直人です。大学馬術部の名門、日本大学の主将をやらせていただくことを誇りに思っています。しかし、その反面主将という責任感に押しつぶされてしまいそうでもあります。

僕は、諸岡監督が日本大学馬術部の監督になった年に入学しました。昨年、僕は学生戦に出ませんでした。今年は選手としてチー

ムに貢献し、そして3年間育ててくださった諸岡監督やコーチの皆様、いつも応援してくださっている方々のためにも、昨年連覇を止めてしまった東都学生をはじめ、関東学生、全日本学生、すべて総合優勝を目標とし、日本大学馬術部の名に恥じることはないよう、また1から新しい歴史を作っていきたいと思っています。

渡邊直人率いる日大馬術部2008をよろしく願います。

今年は、「初めて」の多い全日本学生馬術大会となりました。一つ目の「初めて」は、馬インフルエンザの流行により、各大学入厩するまでの間厳しい検査が行われたことです。また、馬インフルエンザにより各地の大会が中止。調整が満足に進まない中、全日本学生馬術大会は始まりました。二つ目の「初めて」は、今年から馬場馬術の決勝にセントジョージの自由演技が行われるようになったことです。音楽に合わせて踊る馬たちは優雅で美しく、より感動が増し、レベルの高い演技に見とれてしまいました。

心配されていた馬インフルエンザによる大会中止は無く、無事全競技を終えることができました。どの大学も検査を怠らず感染を防ぐよう最善を尽くした結果であると思います。

団体総合の成績は3位。しかし昨年と違うところは、大差の3位。昨年にも増して悔しい3位。「来年こそは優勝してやる!」そんな強い気持ちでこれからの大会に出場していきたいと思えます。

全日本学生賞典馬場馬術競技大会

個人3位/3年:大友 和哉(ダーラヘスト)

去年の全日本学生は、馬場では個人で3位に入賞することができました。しかし、障害と総合では期待に応えることができず、障害では18位、総合では15位という成績に終わってしまいました。エース級の馬に乗せてもらいながらこのような成績になってしまい、自分の不甲斐なさに反省しています。

1年の時から多くの試合に出させてもらっているため、最後の年となる今年、自分の成績を上げるのはもちろんのこと、団体でもいい成績がとれるように皆を引っ張っていきながらがんばりたいと思います。

全日本学生賞典総合馬術競技大会

3年:飯島 啓介(桜幸)

今年の全日本学生の総合は約2週間前に桜幸号で出る事が決まった。準備期間の少ない中で何とか試合に間に合わせなければならなかった。何よりもこの馬では初めての試合ということで、今までの経験、学んできた技術、そして何よりも馬を信じるしかなかった。

コンビを組んで間もない桜幸は外産のポニー。しかし、小さいながらもとても勇敢な馬で、障害の練習の時にはまだ乗りきれてない僕をいつも助けてくれた。とても心強かった。

そして臨んだ全日本学生の余力、コース中盤のダブルのAで反抗されてしまい、頭からはなれないくらい今でも悔しい。

残り1年は悔いが残らない様、精一杯がんばるだけだと思ふ。

全日本学生賞典障害飛越競技大会

2年:北村 美緒(桜魁)

約1年半前、日大馬術部に入学し130cmもある障害のコースを軽く走行する先輩方を見て、これが大学生のレベルと改めて認識させられ、まさか自分が全日本学生の二回走行に出場するなんて思いもしませんでした。

今年度の関東学生前、急遽コンビを組む事となった桜魁。それまで130cmのコースなど回った事のなかった私を乗せて「俺についてこい」と言わばかりに力強く障害に向かっていってくれました。

そして全日本学生。元々肢があまり強くない桜魁は、試合前調子が良くない日が続く思うように調整できず、不安が募る一方でした。しかし試合直前、肢の調子も回復し、桜魁自身の調子も良い状態で全日本学生を迎える事ができました。桜魁の頑張りにはただただ頭が下がる思いでいっぱいでした。

結果は、私の技術面、精神面の未熟さから走行一回目は失権、二回目も多くの減点を負ってしまいチームに貢献することが出来ませんでした。

この結果を受け止め、反省点を改善し、次回良い結果に繋がるよう日々の練習に取り組んでいきたいです。

六会 ニュース

桜圭 大活躍

桜圭号は通算11戦4勝あげたちょっと有名な元競走馬である。タマモリッチという名前而走っていた桜圭号は引退して以降、日本大学馬術部に競技馬としてやってきた。タマちゃんの愛称で、ユニークな表情やしぐさなどがとても可愛らしくたちまち人気者になった。その可愛さとは裏腹に得意の総合馬術の野外走行ではパワフルな走行でみんなの注目を引き、今では日大に無くてはならない存在になった。



次の競技である第2班には1年の川島龍彦が騎乗し、これもまたすばらしい走行。優勝は逃したものの参加人馬28頭中2位と健闘した。

今絶好調のタマちゃん、今後の活躍が楽しみである。

11月23日、24日に行われた関東学生会会長杯では、L級障害飛越競技第1班に3年江良藍生が騎乗し出場した。スムーズで息の合った走行で、2位に4秒の差をつけ優勝。江良はなんと初めての優勝、タマちゃんはこの貴重な体験に貢献した。

愛馬 アリスタクラーシー

最近になって私の担当している愛馬が障害を飛んだ。私がその子の担当になったのが5月。それから1回も障害を飛んだところは見たことがなかった。なぜなら、5月に会った時から肢が悪く、一時は厩舎から出ることも出来なかった程だったからだ。肢が悪くなった原因もわからず、装蹄師や獣医師の方の意見から治療し、

肢の怪物は完治して乗れるまでになった。しかし今度は体温が下がり、下痢になり、心拍も普通の馬の半分くらいという状態が続いた。大学の先生に心電図、心臓のエコーを撮ってもらったりもした。原因は草中毒であったらしく、1ヶ月ほど経つと下痢は治まり心拍も普通の馬と同じ値になった。そして曳き馬で山坂に行ったり、鞍を付けての曳き馬、休馬状態だった体に筋肉を付けていき、今では障害も普通の馬と同じように飛べるようになった。5月から2回も危険な状態になったが、がんばってくれた愛馬に感謝の気持ちを忘れず、3年後レギュラー馬になってくれていることを思いながらこれからもこの子と一緒に頑張っていきたい。(高橋愛美)



東西南北勢揃い!!

最近、気付いた事があります。それは部員の出身地についてだ。

ここ、日大馬術部にはいろいろな方言が入り混じっている。北から行きますと、北海道、東北、北陸、関東、東海、関西、四国、九州とよりどりみどりでございます。

関東人の自分はなんだか違う世界の人と話している感覚になる。それは地方によってCMがいろいろあるのだ。地方限定の商品があるので当たり前だとは思うのだがとても不思議に思える。

それにしても関西弁はとてつもない影響力をもっている。なにがすごいかわからない。なにかの地方の人でも関西弁を使ってしまうのだ。十八番の「なんでやねん!」はあまり聞かないが、「~やろ?」や「あかん!」を耳にすることが多々ある。日大馬術部にはなんちゃって関西人が多く住んでいるのだ。

ここで楽しみなのがお土産だ。全国各地からご当地ものが集まるのである。そのお土産は一瞬にしてなくなってしまうのである。食べそびれてしまったら最後...その日1日は憂鬱な日になってしまうほどショックだ。

しかし以前、前代未聞と思われることが起きた。それは、お土産が2週間の間残っていたのだ。この、奇跡とも言える事件は代々受け継がれることだろう。それにしても、ここ日大馬術部員の口にも合わない食べ物があったとは...。驚きを隠せないのが事実だ。



六会の電子頭脳

1年生の川島君は、日大附属山形高校からやってきた馬乗りのスペシャリスト。彼の輝かしい成績は、名門日本大学でも上位に入るほどだ。しかし、そんな彼にはとてつもない裏の顔がある。それは、自作のパソコンを持つほどコンピューターマニアだということだ。彼にパソコンのことを聞いて答えられなかったことはない。むしろ、聞いてしまったら最後、彼はパソコンについて熱く説明し始め止まらない。そして、言っていることが素人である私たちには難しすぎて、さっぱり理解できないのだ。

そして、注目すべきポイントは彼のポケットである。まるでドラえもんのように、パソコン関連グッズが次々と出てくるのだ。以前、ポケットからひょっこり顔を覗かせていたものは、なんと六会の電話の子機。

その他にもお菓子なども入っていることも。しかし、正確な中身はトップシークレット。同期であっても誰も中身はわからない。

そんな彼は、今馬術部のパソコンの業務の大部分を一年生ながら受け持ち、作業に馬に学校と日々奮闘している。

こんなにも熱い男、川島君だが感覚の世界である馬術には日々悩まされているようだ。やはり大学馬術部はレベルが高く高校時代の技術では大学三種目には歯が立たない。しかし、川島君ならいつの日かその頭脳を駆使し、馬乗りでも最先端を走り、日大を引っ張っていけるような男になってくれるはずである。だからこそ、みんなで彼の今後の活躍を見守ってあげてほしい。

施設紹介 ~タックルルーム&薬品棚~

①タックルルームの新設

六会にタックルルームが2棟新設されました!六会の門をくぐって右側の大きい方は、試合用の飼い桶、水桶、競技会用のボックス、冬の間不要となる扇風機等を保管しています。初めて見た部員の第一声は「すっ住める!」それくらいの広さがあります。厩舎の裏にある小さい方は、厩舎作業用の道具、セッケンなども保管しています。



②薬品棚

診療室に入り際輝きを放つもの、それは薬品を保管するステンレス製の棚です。今秋に六会にデビューをした新顔です。昭和の時代から使用していたものとは違い、作業台付きのものとても使いやすいです。獣医の学生が多い六会では、馬の治療等で薬品等を使う場面も多くなり、こういった管理においても重要視しています。

①タックルルーム

②薬品棚

元競走馬特集

「メジロマントル」
(競走馬名/メジロマントル)
セン 10歳 41戦8勝



に引けをとらない名馬に育ってほしいです。(古田 明日香)

歩様がとてもいいマントル君の乗り心地は口当たりも良く脚への反応もとてもいいので、凄く乗りやすいです。特に駈歩は軽いフットワークで走るため、フワフワ浮き上がるような反動を感じ、空を飛んでいるかのような錯覚に陥ります。元々素直で賢いマントル君は障害でもその頭よさを発揮し、どんな障害でも飛んでくれます。

しかし、玉に傷なことかひとつあります。競走馬で逃げ馬だったせいか極端に日向馬を嫌い、咬み付こうとするところ。ただそれだけです。

そんな完璧ともいえるマントル君と私が出会ったのは、なんと阪神競馬場だったのです。2005年12月11日、私が初めて競馬場に足を運んだ時のメンリース(鳴尾記念GⅢ)をマントル君は私の目の前で制していたのです。その時私はあまり競馬に興味がなくマントルのことはろ覚えでしかないのですが…

運命的な再会を果たした私とマントルは総合馬になるため、日々練習に励んでいます。3年後の全日本学生馬術大会にマントルと一緒に出場する事を目標にしています。

今日もマントルは、日大の広い馬場を自慢の軽いフットワークで元気に走っています。(足立 亮)

メジロマントルが六会にやって来て数ヶ月が経ちました。小柄でハンサムな栗毛馬、愛称は“とんちゃん”。部員皆の愛情を一身に受けて、すくすくと育っています。

近親にメジロドーベルを持つメジロゆかりの血統に生まれたマントルは、2000年に中央競馬でデビューしましたが、勝ち星を挙げられないまま高崎競馬場に移籍します。この時既に5歳の夏を迎えていました。そこで日本大学馬術部OB(昭和53年度卒)である法理勝弘調教師のもと初勝利を挙げて中央に帰って来ると、6歳春から7歳夏にかけて4連勝を含む6勝をあげ一気にオープン入り。運送きの桜はキラキラ光る栗色の馬体を躍らせてレースを引く張る逃げ馬として活躍します。同世代の馬たちが第二の馬生を送っている中でマントルはひたむきに走り続け、8歳の12月、暮れの阪神・鳴尾記念でついに重賞タイトルを手に入れます。

その後も10歳を迎えるまで重賞戦線で戦い続けたマントルですが、現在では六会でも指折りのおっとりやさん。こちらが驚いてしまうほどどんな時でも落ち着きがあり、人間大好きな甘えんぼです。名前を呼ぶと馬房から顔を出してくれるとんちゃん。肢を洗う間じゅう鼻面をすり寄せてくるとんちゃん。ペットにしたいくらい愛らしいとんちゃん、乗馬としてはまだスタートラインに立ったばかりですが、歴代のメジロの先輩たち



六会のおもしろい馬

「コスモベルモット」

のである。

例えば周りに人がいなくなって寂しくなった時、ブルル…と鳴くので近づいて触ってみると人を警戒しているような態度をとるので、触るのもほどにしようと思った、その時すかさず。首を横に傾げるのだ。

これがなんとともいえぬ「かわいい瞬間」なのだ。どこで覚えたかわからないが、これがこいつの武器なのだ、それに加えて容姿もGoodなのだ。正に鬼に金棒である。(笠井 隼人)

一般的に「かわいい馬」と聞いて、人はどんな馬を想像するだろうか。容姿の良い馬。馬格の良い馬。性格の良い馬etc…人によって考え方が違って来るのだが、コスモは普通のかわいいとは少し違う。
「なんだかわからないがかわいい」

六会のちょっと変わった 自慢話

さてここで、我ら六会人の凄い人達を一部ご紹介します。

まずは、名前だけで笑いがとれる少年がいます。それは“さ〇た”君です。なぜ、名前だけで笑いがとれるか…。代表的なのが、彼の携帯電話を充電すると名前を呼ぶのです。機械なので喋りませんので効果音ですが…これは奇跡をも感じました。

さらに、馬術部の男の子は車を運転しなければならないのですが、ある1人の男の子は馬よりも車に乗るほうがうまくなってしまったのです。本当にうまくなりました。立派なドライバーになりました。他にもさまざま個性ある自慢があ

ります。しかし、ここ日大馬術部にも謙虚な人がいるもので、「自慢はなんですか?」と聞いたところ「私には人に言えるような自慢はありません」と答えが返ってきたのです。我が耳を疑いました…それにしても日々の生活で「この人のこの自信はどこからわいてくるのだろう…」と思うことが多々あります。すなわち、自慢話とは大概が自己満足の世界です。しかし!! 私達は自己満足の世界では終わらないほどに自慢出来るお話しをご用意しておりますので是非、ご興味くださいませ。

今、はまっていること

「お勉強」(上〇博人)
さすが日大生!! 目指すは文武両道。ガンバレ!未来の獣医さん。

「ジムのバランスボード」(増〇亮)
これ、難しいですよ!鍛え上げた肉体美です。

「チャッピーに乗ること」(高橋〇美)
いいぞ! その汗、その涙!! いつでも笑顔忘れずに。

「掃除用具を揃える」(住友〇)
整理整頓! 大切です。日々の積み重ねがいつか実をむすぶのです。

「チーズフォンデュ」(古田明〇香)
この前、スーパーでチーズフォンデュ用のチーズを発見しました!! 今度、チーズフォンデュパーティーでもいかがですか?

「お買い物」(山中〇一君他)
衝動買いは厳禁です。よ〜く考えよー。お金は大事だよー

「使役」(波〇野光人)
これぞ使役の鏡です!! 彼の働く姿はとて輝いていました。このまま飽きずに頑張ってもらいたいです(笑)

「お鍋」(江〇監生)
冬はやっぱり鍋で温まりましょう!! あなたはうどん派ですか?それともごはん派ですか?

「秋葉系」(榎本〇)
萌えー!!って見た目わかります。私としてはもっと清潔感溢れる人になってほしいものです。

「DVD鑑賞」(渡邊〇人)
ただのDVDではありませんね…。あまり変なものばかりみてはだめですよ!

「馬場馬術」(坂田龍〇)
今年は大活躍でした。最近、障害も始めましたね! 来年も期待しています!がんばって。

「桜貴をかわいがる」(北〇美緒)
とっても仲良しですよ!でも…よくいじめられているのを目撃します(笑)

「アイス食べ歩き」(川島〇彦)
おなかをこわさないように気を付けて! ちなみに座って食べてくださいね。

みなさん、いつまで続かわかりませんが会ったときには一言「今、なににはまっているの?」と聞いてみて下さい。きっと予想外の展開に…(笑)

アナザーヒーロー

馬を誰よりも愛する 北の最終兵器

高橋 啓人



日本大学馬術部3年の高橋啓人です。自分は大学から馬術をはじめた一般生です。自分は馬にスポーツ推薦で入ってきたように上手く馬に乗ることはできません。そんな自分が部に貢献できることは、馬の体調管理、大会の補助です。自分は獣医学科の学生でありますので、馬の体調管理について勉強して、それを応用して馬をケアしていきたいです。

大会の補助に関しても、大会に出場する選手達に大会に集中してもらるように、また大会での運営最中でのアクシデントについていち早く情報を

促せるように大会補助員としても頑張りたいです。

11月24日に行われました関東学生会会長杯のL級競技に出場させていただき、桜番号で減点0で無事帰って来ました。馬乗りの下手な自分に、このような大会に出場させていただき、ありがとうございました。

これからも、数少ないチャンスに結果を出しつつも、部へのサポートに全力を尽くしたいと思います。



今、自分が使用している
携帯電話について聞きました。
 あなたの**“待ち受け画面”**は何ですか?
30名の部員紹介



平成20年大会予定

2月

11日 **六会ホースショー**
 日本大学馬術部

15~17日 **スクーリング**
 JRA馬事公苑

24日 **2月ホーストライアル**
 JRA馬事公苑

29~3月2日 **関東学生馬術
 新人競技大会**
 JRA馬事公苑

3月

13日 **3月ホーストライアル**
 JRA馬事公苑

28~30日 **日立明馬術競技大会**
 JRA馬事公苑

未定 **トキノアラシ号記念
 馬術大会**
 JRA馬事公苑

4月

3日 **4月ホーストライアル**
 JRA馬事公苑

11~13日 **東京都馬術選手権大会**
 JRA馬事公苑

18~20日 **東都学生馬術競技大会**
 JRA馬事公苑

5月

12日 **三獣医馬術大会**
 JRA馬事公苑

15日 **5月ホーストライアル**
 JRA馬事公苑

24~25日 **都民体育大会**
 JRA馬事公苑

30~6月1日 **全日本ジュニア
 総合馬術大会**
 JRA馬事公苑

未定 **ユドラ号記念馬術大会**
 JRA馬事公苑

6月

7~8日 **東京馬術大会**
 JRA馬事公苑

14~15日 **関東学生馬術争覇戦**
 JRA馬事公苑

25~29日 **関東学生馬術
 競技大会**
 JRA馬事公苑

合宿所・馬場

〒252-0813
 神奈川県藤沢市亀井野840
 tel : 0466-81-0288
 fax : 0466-81-8885
 e-mail _____
 nuet@msj.biglobe.ne.jp
 HomePage _____
 http://www.nu-equestrian.com

皆様応援よろしくお願ひします。

日大馬術部 ブログ

『むっちい』をご存じですか?

大人気「むっちい」は日々更新中。六会の楽しい出来事がわかりますよ。ぜひご覧になって下さい!

(編集担当) 増田 亮、江良 藍生、小森 花林